

観光資源の連携と 文化資源の魅力向上のための 情報発信

■ ルート名：薩摩よりみち風景街道
田島 直美さん



Scenic Byway Kyushu Meister



薩摩よりみち風景街道協議会 副会長
薩摩川内市民活動ネットワーク 代表

田島 直美さん

◆ 特徴的な活動

「美しい景観づくり」

- ・ 景観形成、保護
- ・ 植栽活動
- ・ 清掃活動

「活力ある地域づくり」

- ・ 地域活性の指導
- ・ セミナー開催

「人材育成」

- ・ 研修会開催

「活動全般の

企画コーディネーター」

活動内容

薩摩よりみち風景街道協議会副会長である田島直美氏は鹿児島県北薩地域を中心に地域の景観形成・保護、観光促進のための活動を行う。風景街道協議会の設立以前から、みちの清掃や美化活動へ参加するなど景観を守る活動を続けている。2022年に九州風景街道マイスターに認定。

地域の受入れ体制強化や担い手確保のため、主体となって研修会を開催するなど、地域との連携、次世代育成にむけた活動も行われている。

魅力ある街道づくり

「薩摩よりみち風景街道」の立ち上げにも尽力された田島氏は薩摩の美しい景観や歴史文化などの地域の魅力を発信する活動を積極的に進めている。活動団体へ働きかけを行い、ルートの魅力を伝えるための事業に取り組んでいる。「薩摩よりみち風景街道」は鹿児島県内で「かごしま風景街道」に続き、2番目のルートとなる。イベント企画について田島氏は、体験学習を行うための地域現場の視察や観光客を受け入れるための各種研修会を開催。ルートの魅力を幅広く発信するためにSNSを活用し、セミナー

Scenic Byway Kyushu Meister

薩摩よりみち風景街道
田島 直美さん



(左) 鶴の飛来地 (出水市)



(右) 長崎鼻灯台公園 (長島町)

も開催している。

さらに、他ルートの多様な団体とも交流、意見交換をしながら地域資源を磨く取り組みを行っている。

自然景観を守るために

薩摩よりみち風景街道協議会設立以前から田島氏は、みちの清掃や美化活動に積極的に参加している。北薩地域の恵まれた自然景観の維持のために薩摩の海岸線付近を通る道路を風景街道と位置づけ、花の植栽や清掃作業、案内立て看板を沿線に設置するなど街道の周知に努めている。



資源同士のネットワーク化

さらに、観光の魅力を高める活動として、田島氏は近隣のルートにもネットワークを広げている。協働して個々の飲食・物販といった観光資源間の連携を強め、歴史や文化・交流、施設・情報といった文化資源の魅力向上にも努めている。

北海道の「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」と共に歴史上の人物を切り口としたオンラインセミナー「人をつながるシーニックバイウェイプロジェクト」が開催された。セミナーで多くの人々と繋がり、次世代に向けた新しい活動の輪が広がっている。

